

【学校教育目標】ふるさとに誇りを持ち、心豊かにたくましく未来を切り拓く子の育成
～学習が好き 友達が好き 自分が好き～

南比都佐小だより

日野町立南比都佐小学校

令和3年2月号



備えることの大切さ

校長 山本 富美子

今年は2月3日が「立春」です。まだまだ寒さは残っていますが、暦の上では「春」、少しずつ春の気配を感じる季節になってくることと思います。

学校でも3学期の日数は少ないですが、その中で1年間のまとめとしての行事や子どもたちの成長を感じさせる場面が数多くあります。かるた会をしたり、漢字検定をしたり、縄跳び大会をしたり、忙しい中にも子どもたちの頑張る姿を見られてうれしく思う毎日です。

先日、6年生の子どもたちが国語で学習した「町の幸福論」を日野町役場で発表する機会がありました。自分たちの住む南比都佐地区をさらに素晴らしい地域にするために考えられることを、国内の他地域の取り組みを調べそこからヒントを得て自分の考えを持つという学習です。この学習のまとめとして、「役場でお仕事をされる方に聞いていただきたい。」という願いが叶い、町長様を始めとして町会議員様や役場の各課の皆様総勢50名ほどの方々の前で発表する運びとなったわけです。子どもたちも予想以上の人の多さに緊張が高まったようでしたが、堂々と自分の考えを発表できていました。内容も素晴らしかったと思いますが、その発表の態度、例えば聞く人に問いかける、その反応を見渡すなどがきちんとできていて、原稿に自分で気をつけることを書き入れたり、家でも何度も練習を繰り返したりというそれまでの努力が実を結んでいたと感じました。今までの6年間の積み重ねた学びの成果であるとも思いました。



木々は葉を落としても芽の姿で春の暖かさを待ち、その中でしっかりと成長のための準備をしています。たんぽぽなどの草花もロゼットと呼ばれる姿で冬の寒さをしのぎ春のための準備をします。子どもたちの日々の学習で、小さなことの積み重ねや繰り返しの中で実を結んでいく様子は、自然のそんな現象と似ているなどと思います。



これから、3学期の終わりまでは、本当に日が飛ぶように過ぎていきますが、どの学年においても日々の生活の充実を心がけ、まとめをしていきたいと思えます。ご家庭でも、温かいお声かけをお願いいたします。

かるた会



1月13日にかるた会が行われました。3年生以上の地域対抗では、下駒月が優勝、曙日が準優勝、3位は上迫でした。緊張感が高まる中、上の句で札を取ったり、同じ札を取り合ったりするなど、どのグループも頑張る姿が見られました。

給食週間



1月25日からの給食週間の取り組みがありました。日野小の奥野栄養教諭から食育指導をしていただきました。また、学校生活を支えてくださる方々に感謝することもできました。

南比小ホームページでは、学校行事や子どもたちの学校生活の様子を日々紹介しています。

南比小

検索



PC、スマホ、タブレットなど、各種端末OK!

2月

1	月	③④ 1年生昔遊び体験 ⑤群読集会 ⑥委員会活動
2	火	第3回学校評議員会 19:30
3	水	③ 4年日本の伝統音楽体験
4	木	
5	金	5・6年スキー教室【中止】
6	土	
7	日	
8	月	わかば校内研
9	火	新一年入学説明会 13:45
10	水	⑤なわとび大会
11	木	建国記念の日
12	金	P T A交通立番 P T A第1回新本部会 19:30
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	③④ 6年日本の伝統音楽体験
17	水	⑤ 5・6年がん教育
18	木	
19	金	6年生ありがとうウィーク（～26日） 学級委員選出選挙管理委員会 19:00 P T A第6回評議員会 19:30
20	土	
21	日	
22	月	⑥クラブ活動
23	火	天皇誕生日
24	水	
25	木	
26	金	③ 6年生を送る会
27	土	ひなまつり（公民館）
28	日	

学習参観、学校保健委員会・P T A子育て講演会 ～ご参加ありがとうございました～

※いただいた感想の一部を紹介します。

学校医 岡藤太郎先生

「新型コロナウイルス等の感染症対策について」
・岡先生からは、コロナにどのように気をつけて生活していけばよいか教えていただきありがたかったです。
・毎日のようにニュースでコロナのことを聞きますが、岡先生のお話が一番よくわかり、今までわからなかったことも疑問に思ったことなどもよくわかりました。なぜそうなのかがよくわかり、これからの生活に生かしていこうと思いました。

助産師 齊藤智孝先生

「子どもの心によりそう子育て」
・とても分かりやすいお話なのですが、一言一言にすごく重みがあり、日々慌ただしく過ごす親としては「は！！」と気付かされることも多くありました。
・「生きていることは奇跡の集まり」と言われた言葉が胸に響きました。
・「生きる為に生きる力をもって生まれてきた」という言葉がとても印象に残りました。毎年、齊藤先生の講演会を聞きたいです。
・子どものがんばりや成長を見てきちんと言葉にしてほめてあげたいと思います。
・「スマホやゲームは楽しむための道具であり、健康を損ねるものではない」とのお言葉、近い将来スマホを持たせるに際して参考にします。
・「人が生きている、生きていられる」「その時、今しかできないことをする。それが生き様」これらを胸に自分を見直し、そして子どもと今しかない時を大事に一緒に「生きたい」とそう思いました。子どもが大事だと心の底から思います。

今年の「六年生を送る会」は会場の密集を避けるために、保護者参観はいたしません。1～5年の子どもたちが中心になり、6年生に感謝の気持ちを表して祝福するあたたかい会にしたいと考えています。

5年フローティングスクール



6年 平和祈念館へいわの子事業



「戦争の記憶が遠ざかるとき
戦争がまた 私たちに近づく」
石垣りんさんの詩より
戦時中、空襲から飛行機を守るために作られた「掩体壕（えんたいごう）」を見学する6年生。